

Formula Blue

YAMAHA 5L KARTING

全日本カート選手権 FS125 部門西地域第 2 戦中山大会

■開催日：5月19日～20日

■天候：晴れ ■参加台数：19台

清水英志郎、盤石のレースで開幕 2 連勝を飾る !!

全日本カート選手権 FS125 部門西地域第 2 戦中山大会が、5月19日～20日の2日間、岡山県・中山カートウェイで開催された。40年以上の歴史を誇る伝統コースでの第 2 戦にむけ、開幕戦で優勝した清水英志郎はもちろん、居附明利も優勝目指してサーキットへと乗り込んだ。決勝日は爽やかな青空が広がる絶好のレース日和となった。

Time Trial/Qualifying HEAT

毎年猛暑に見舞われ、ドライバーを苦しめる中山大会だったが、今年は好天であるものの5月らしい爽やかな気候となった。日差しは強いものの、吹く風が冷たく、それほど気温も上昇しない一日となり、ドライバーの体力面においては例年より負担が軽減されることとなった。

7分間のタイムトライアルでは、居附が真っ先にコースイン。やや遅れて清水もコースに入りアタックを繰り返す。1周30秒ほどで周回できる短いコースのため、多くの周回でアタックできることとなる。清水は順調にタイムを縮めると、全体トップタイムとなる30秒301をマーク。前戦からの好調をそのまま維持し、2連勝へ向け幸先の良い滑り出しとなった。一方の居附はブレーキ

トラブルを抱えながらの走行となり、思うようにタイムアタックを行えず19位に終わるが、清水とのタイム差は0.349秒と僅差であった。

予選ヒートでは清水が好スタートからトップを堅持し周回を重ねていく。居附はオープニングラップの混戦の中でフロントフェアリングが脱落し、決勝へ向けタイヤを温存する判断でピットへと戻り、このヒートを終えた。

快調にトップを守る清水は、リードを終始保ち続けトップチェッカーを受け、決勝のポールポジションを獲得した。居附は最後尾からの追い上げを期し決勝へと臨む。

Final HEAT



ンを挽回していく。

トップ清水のリードは、レースが残り1/3となる20周すぎにはわずかながら広がる。常に一定のリードを保ちながらの周回で、まったく危なげなく勝利に向かって周回数を削っていく。居附も、一台一台丁寧にパッシングを続け、終盤にはトップ10圏内も視界へと入ってくる。

レースは、清水が一度もトップを譲らず、またリードを保ち続ける強さを見せつけ、開幕戦に続く2戦連続のポール to ウィンを飾った。上位陣が開幕戦から大きく変わったこともあり、選手権ポイントでも清水が大きくリードすることとなった。居附は最後まで攻めの走りを見せ、11位まで順位を上げてチェッカーを受けた。



決勝ヒートは30周と周回数も多く、最後まで油断はできない。きれいに揃ったローリングからスタートを切ると、ポールポジションスタートの清水はしっかりとポジションを守り、バックストレートへと折り返す。最後尾からの追い上げとなる居附は、スタート直後の混戦で接触することがないように、まずは慎重にオープニングラップをクリアしていく。

トップの清水は、2番手の選手を引き連れて集団から抜け出し、トップ2はテール to ノーズの一騎討ちとなる。清水は、常にリードを保ち続け、2番手の選手に仕掛ける隙を与えない。

序盤は慎重にレースを進めていた居附も、中盤に差し掛かり集団がバラけ始めてくると、いよいよ攻勢を開始し、着実にポジショ

6 Formula Blue Team Nagao



清水英志郎 (チームナガオ / 兵庫県出身 / 15歳)

前日の練習では全く本番の予想がつかない感じで、いい手応えはありましたが、トップを確実に獲れる自信はありませんでした。タイムトライアルは僅差でしたし、予選、決勝も競り合う形になると予想していました。けれども、意外と競り合うことはなく、2番手の高木選手とずっとギリギリの差で周回を続けていました。チームクルーからのサインなどで後ろの状況も把握でき自分のペース、自分の好きな形に持っていたので、良かったと思います。次回以降もできるだけトップを狙っていきたいです。次の御殿場は走ったことがないので、どうなるかわかりませんが、自分のやれる限りを尽くして走りたいです。

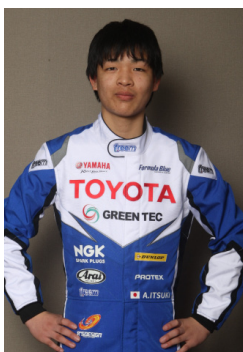
チーム代表：長尾 貢【ナガオカート】



今回はテストも順調に進み、長く走ってもタイムが落ちないことを実証できていましたので、決勝はある程度は安心して見ることができました。開幕戦に続き、パーフェクトで終わることができ良かったです。

御殿場は、馴染みのないコースで苦戦するとは思いますが、全力を尽くして頑張ります。

25 Formula Blue Ash



居附明利 (Ash/ 愛知県出身 / 15歳)

公式練習からあまりタイムが伸びず、ギアを変えたりもしたのですが、タイムに反映されませんでした。予選はスタートでフロントフェアリングが脱落したため、すぐにタイヤ温存へ切り替え走行をやめ、決勝で追いつこうと考えました。決勝のうちはぶつからないこと、フェアリングを落とさないことを意識して走り、中盤以降に順位を上げていきました。最終的に11位まで上がったことは良かったと思います。

御殿場は一度走ったことがあります。新しく広いコースなので、今までと違い抜くところも多くなります。追いつぎの展開になったとしても、順位を上ていきたいと思っています。

チーム代表：築山 敬【かあと小僧】



今回もフロントフェアリングの脱落があり残念な結果ですが、しっかりと学習し、御殿場に向けて何を改善すべきがよく考えて取り組みたいと思います。前週の練習で雨の中を走り、シャシーを全損させてしまい、今回は以前使っていたシャシーを使いました。身体も痛めてしまっていたのですが、それも含め自己コントロールのひとつです。ハイグリップタイヤに慣れる、体力をつける、それと並行して細かいことも教えながら頑張っていきたいです。

全日本カート選手権西地域第2戦 RESULTS

Pos.	No.	Driver	Team	T.T.	Q.H.
1	6	清水英志郎	Formula Blue Team Nagao	30.301 ①	1
2	17	高木悠帆	SUCCEED SPORTS Jr.	30.305 ②	2
3	23	門田翔成	朱座 A&T VersusRT	30.362 ④	6
4	34	米倉篤輝	AKILAND RACING	30.400 ⑥	11
11	25	居附 明利	Formula Blue Ash	30.650 ⑱	19

全日本カート選手権西地域ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	Points
1	清水英志郎	Formula Blue Team Nagao	70
2	渡部 樹	TAKAGI PLANNING	45
3	嶋田 隼人	K-TECH/wびいたあばん	44
3	木悠帆	SUCCEED SPORTS Jr.	44
13	居附 明利	Formula Blue Ash	11

EVENT CALENDAR

	East	Rd.1 22/Apr. MOTEGI	Rd.2 3/Jun. HONJO	Rd.3 1/Jul MOBARA	Rd.4 5/Aug. MOGAMIGAWA	Rd.5 9/Sep. SUGO	FINAL 18/Nov. SUZUKA
West	1/Apr. BIWAKO	20/May NAKAYAMA	17/Jun. APG	15/Jul. MIZUNAMI	26/Aug. KOHBE		